第5回黒島小中学校検討委員会議事録

- 1 日 時 平成29年4月11日(火)19:00~20:30
- 2 場 所 黒島小・中学校 校長室
- 3 参加者 濱田・牧野・大村・鶴﨑・松﨑・惣田・髙田・木下・山﨑・戸田 計10名(欠席:古里) ※敬称略

4 協議事項

- (1)新年度の委員について
- ○新年度になって委員に変更があった。まずは、連合町内会長が濱田次義さんになった。 これまでは「黒島小・中学校のあり方検討委員会設置要項」第3条第4項の会長が必要と認める者として御参加いただいたが、今年度から同要項同条第3項の「黒島地区連合町内会長」として、昨年度から継続して委員をしていただくことになった。
- ○牧野前連合町内会長は、同条同項により委員辞任になるところであるが、これまで本会のメンバーとして第一回会議から参加していただいていることから、同条第4項により会長が必要と認める者として、本会委員として継続して御協力いただきたい旨依頼したところ、快く引き受けていただくこととなった。
- ○同条第2項により育友会の副会長である浅田悦子さんであるが、お子さんが黒島小中 学校に在籍しないこともあり、御本人の要望と協議のうえ、育友会総会で副会長辞任 となった折には、委員を辞任していただくこととなる。
- ○本校の校長の異動により、月川校長の代わりに惣田正宏校長に、委員に就任していた だくこととする。

(2) 要望書提出及び懇親会について

- ○市教育委員会と協議して、4月15日(土) 11時10分から本校校長室において、 要望書を提出することとしている。
- ○その後は、山下旅館において懇親会を開催する予定である。
- ○佐世保市教育委員会の出席予定者は、西本教育長、中原教育次長兼学校教育課長、吉田総務課長、学校保健課末川主幹、学校教育課田川副主幹、総務課松尾課長補佐の6 名が参加予定とのこと。
- ○市教委6名の移動について。黒島港から学校は、職員が送り、学校から山下旅館まで は徒歩、山下旅館から黒島港までは山下旅館に依頼する。
- ○要望書提出式の進行は木下教頭。はじめの言葉は大村会長。要望書の提出は濱田連合 町内会長から教育長にお願いしたい。
- ○懇親会の会費は3,000円の予定。

(3) 新校名の募集について

○投票結果は以下のとおり(投票用紙に記入してあった校名と校名に対する思い)

(1) 黒島小中学校…27票

- ・年をとってからも母校とわかりやすい。子どもも少なくなるし、今さら変えなくてもいいのではないか。
- ・昔からずっと黒島小中学校という名前だから、その黒島小中学校の名前を変え ないでそのまま残していいと思うから。
- ・今まで慣れ親しんだ呼び名がしっくりくるかなと思います。
- ・校舎も新しくなり、校名も変わってしまうのは思い出がなくなってしまったようで寂しいです。
- 昔からの呼び名でなじみやすい。
- ・「学園」より「学校」の方が知らない人が見てもわかりやすいと思うから。
- ・私たちが学んだ学校なので、そのままの黒島小中学校として残してほしいです。
- ・今のままでよい。聞き慣れているのでわかりやすいと思う。
- ・黒島の児童生徒が通う学校なので、そのままわかりやすいので選びます。
- ・「学園」がすごく中学生らしくならないからです。
- ・校舎が、体育館が解体されていくときにとても悲しくて寂しく感じました。せ めて校名だけは変えてほしくありません。自分たちの母校なのですから。
- ・昔ながらの黒島小中学校は絶対になくしたくありません。今の高齢者の方々からもよくその話を聞きます。他の名称になれば黒島ではないみたいです。

(2) 黒島はまゆう学園…15票

- はまゆうが優しいイメージ。
- ・黒島に来るまで「浜木綿 (はまゆう)」の花自体も知りませんでした。黒島はまゆう学園にもし決まったら、校名をとおして「浜木綿」に関心を持つ人が出てくるかもしれないと思いました。
- ・今までの何かを残したいと思います。私たちの思い出とこれから通う子どもたちがはまゆうを見ながら元気に学んでほしいと思っています。
- ・校歌・校章・はまゆう坂に咲くはまゆう。伝統を受け継ぎ、新しい学校としての 校名にふさわしいから。
- ・学校へ「はまゆう坂」をのぼっていく。校歌・校章にもはまゆうが使われている。
- ・校歌に「はまゆう」という言葉が入っているから。
- ・昨年度の6年生が考案したから。黒島小中学校は慣れていますが、「NEW」「新 設」という華々しさから別称がよいかなと思います。
- はまゆうは校歌にもあるし、いいのではないでしょうか。

(3) 黒島みらい学園…2票

- ・未来ある子ども達にすくすくと育ってほしいという思いです。
- (4) くろしま学園…1票
- (5)黒島しおかぜ学園…1票

- ○得票数だけだと、黒島小中学校が黒島はまゆう学園の約2倍もあり、地元住民の意向 として捉えることができる。
- ○黒島の世帯数は約220ある。投票総数が46票。そのうち、児童生徒と教職員の票を差し引いて考えると、得票数が少なく、約10%である。黒島は選挙の投票率も低い傾向にある。
- ○校名への思いを読んでみると、それぞれの良さを感じる。
- ○今までの慣れ親しんだ名称のままがよいという考えもわかるし、校舎が新しくなるので校名を新しくしたいという考えもわかる。
- ○新校名候補の得票数に大きな差が無ければ、それらを検討して得票数によらずに優先順位を変更することもできるが、これだけの得票数の差があるのであれば、このまま教育委員会に報告するのが妥当ではないだろうか。
- ○よって、優先順位として第1を黒島小中学校、第2を黒島はまゆう学園。
- ○また、それぞれの得票数も併せて教育委員会へ報告する。

(3) あり方検討委員会便り第6号

- ○お便り第6号は要望書提出式の様子を掲載したい。要望書提出時の写真を掲載したい。
- ○第4回のあり方検討委員会の様子を紹介したい。

(4) 第4回あり方検討委員会議事録

- ○第3回までの議事録はすでにホームページにアップして情報を公開している。
- ○今回示した議事録を、今回もホームページで公開する。
- ○委員の皆様には議事録を読んでいただき、発言した意図と違う内容が記載されている場合は遠慮されずに伝えてほしい。ちなみに、発言者は載せず、発言者が特定されないようしている。
- ○公正公平に審議していることを公開する意味でも議事録を作成し、ホームページにも 公開している。ボイスレコーダーを今回も活用している。

(5) その他

○次回の会は、校章・愛唱歌を他の学校がどのようにして決めていったかなどについて 情報交換をしたい。

以 上